

2019年度 交換留学報告書

留学先大学	ミュンヘン大学 Ludwig-Maximilians-Universität München	留学先国・都市	ドイツ・ミュンヘン		
留学期間	2019 年 9 月 ~ 2020 年 2 月				
学部・研究科	教養学部 教養学科	留学開始時の学年	2年生	帰国時の学年	2年生
留学先学部	Faculty of History of Arts				

1. 出発準備について

I. ビザ取得

- (1)取得に要した日数 ビザ申請日から受領まで約 1 日 (2)面接の有無 有 無
(3)ビザの種類 滞在ビザ
(4)取得時期 到着後現地で約1ヶ月半後に申請しその日のうちに取得

- (5)申請方法(必要書類等)と、困ったこと・気を付けた方がいい事など。

到着後一週間以内に役所(KVR)で住所登録をします。ホームページにて要予約。在留許可は三ヶ月以内に取りに行きます。すぐに予約が埋まるので住民登録の予約と同時に絶対に予約した方がいいです。予約できなかった人は何度も朝からKVRに通ってかなり大変そうでした。その際資金証明が必要で、人によりますが私の場合はユーロ建てで出した日本の口座の残高証明書と奨学金証明書で通りました。その他パスポート、住民登録でもらう用紙、ドイツの健康保険証明書、入学許可書、滞在許可の申込用紙、証明写真が必要で、料金は私は56ユーロでしたが19年11月から100ユーロに変わったそうなので要確認。

- (6)予防接種の種類 なし
(MMR等)

II. 航空券

- (1)往路 直行便 乗継 成田 空港発 バンコク国際 空港経由
ミュンヘン国際 空港着
(2)復路 直行便 乗継 ミュンヘン国際 空港発 バンコク国際 空港経由
成田 空港着
(3)利用航空会社 往路：タイ国際 航空
復路：タイ国際 航空
(4)航空券の種類 FIX(日程変更不可) OPEN(日程変更可) FIX/OPEN 片道 その他
(5)購入方法 旅行代理店窓口 インターネット (サイト名：エクスペディア)
 その他 ()

2. 到着後の手続きについて

I. 空港から大学までの移動

- (1)移動手段 大学手配の出迎え 電車 バス タクシー 知人の出迎え
 その他 ()

- (2)所要時間 約 1 時間 分

II. 到着後の手続き

- (1)オリエンテーション 有 無 (留学生向けに事前語学研修の初日と学期開始前に1日)
(2)滞在許可申請 有 無 (到着後3ヶ月以内にKVRにて申請が必要)
(3)留学生向け語学研修 有 無 (学期前 学期中) 期間: 学期前1ヶ月間と学期中週2
(4)その他手続き ()

3.生活について

I.住居

- (1)住居の種類 寮 (寮名: Olympisches Dorf)
 アパート ホームステイ その他 ()
- (2)シェア人数 0 人 (3)共有部分 バス トイレ キッチン (4)自炊 可 不可
(自分は除く)
- (5)大学までの交通手段と所要時間 (6)個室の有無 有 無
 徒歩 バス・電車 自転車 10 分
- (7)住居申込方法・時期 (Applicationと同時に大学へ申請した)
- (8)住居について困った事やアドバイス及びルームメイトについて(国籍や良かったこと、困った事)

私の住むOlympialには近くにスーパーもパン屋もレストランもあったのであまり困らなかったです。1人部屋で最初はとても寂しかったですが最終的には綺麗で広くてリラックスできて良かったと思っています。

II.食事

- (1)毎日の食事についてあてはまるもの全てに✓
 自炊 寮食 大学内学食 外食 その他 ()
- (2)ミールプラン 有 無 月額(現地通貨) _____ (日本円約 _____ 円)
平日【 朝 昼 夜 】 週末【 朝 昼 夜 】
- (3)最寄りのスーパーやマーケットまでの所要時間
 徒歩 バス・電車 自転車 3 分
- (4)食事について困った事やアドバイス

大学の次のGiselaStrasse駅に大きな食堂(Mensa)があり昼はよくそこでだいたい1食3ユーロくらいで食べていました。日本食スーパーもアジアスーパーもあるので値段は張りますが日本食は手に入ります。どの駅にも必ずベーカリーがあるのでパンはよく食べていました。夜8時以降と日曜日にはどの店も閉まっているので注意です。

III.インターネット環境

- (1)住居 有 無
- (2)キャンパス 有 無 (キャンパス全体 接続スポット)
- (3)個人契約 有 無
ある場合は契約内容について(契約会社、契約方法など)
- (4)外出先でのインターネット利用 有 無
ある場合はその利用方法について(カフェやお店の無料Wi-Fiなど)
- (5)携帯電話利用について 日本の携帯を持参 現地購入 使用していない
その利用方法について(契約会社、契約方法、費用など)

寮にあるOlynetのオフィスで30ユーロでWifiルーターを購入。

寮の閲覧室や図書館、大きな駅ではWifi利用可能。他はお店によります。

日本の携帯電話をSIMフリーにして、現地のALDIというスーパーで買えるALDI TalkのSIMを購入。全てドイツ語ですがレジにて手続きができます。スーパーでもオンラインでもチャージできるプリペイド式で、約10ユーロで4.5GB使えてお得でした。EU圏なら普通に使用でき、海外旅行パックなどもありました。ドイツ語が話せる、またはドイツ人の友達がいる方はおすすめ。

4.留学先大学について

I.大学の周辺地域

- (1)治安 良い 普通 あまり良くない 悪い
注意すべき点
- 夜中でも普通に歩けますが、中央駅付近は少しだけ危険。

- (2)交通の利便性 良い 普通 良くない
 (3)主な交通手段 電車・地下鉄 バス・トラム 自動車 その他 (_____)
 (4)都市部(繁華街)までの所要時間 15 分 (交通手段: 地下鉄)

(5)交通手段に関して注意すべきことやアドバイス

学期が始まる月から6ヶ月間195ユーロでミュンヘン市内の交通機関乗り放題のセメスターチケットが購入できます。忘れて見つかるとう60ユーロのペナルティーです。

(6)よく利用した買い物やレジャー、医療機関など周辺施設について

どこにでもスーパーはあるし、Marienplatzという市の中心に行けば大体何でも揃います。アジアスーパーは中央駅付近のGo Asiaが一番大きくておすすめ。

II. 授業

- (1)履修登録の時期・方法 出発前 出発後 派遣先大学国際室 オンライン メール等
 その他 (_____)

(2)履修の制限

出発前にLearning Agreementが必要なので仮決定して提出します。担当の教授のチェックが入りますがその後登録した時間割はチェックされないで結局は自由でした。

(3)授業・履修登録で困ったことやアドバイス

授業の種類によって登録方法が異なり、またテスト前の登録が必要なものとそうでないものがありました。

(4)語学研修(学期前・学期中)を受けていれば、期間・内容・費用について

学期前は90+45分を1ヶ月間毎日、Excursion Programと合わせて420ユーロで、学期中は90分週2回を150ユーロで受けました。

(4)履修科目

	科目名	授業の言語	出席人数	単位数
1	History of Munich and Bavaria: An introduction for international students 授業内容/履修学期: ミュンヘンとバイエルン地方の歴史について2, 3人ずつトピックごとにプレゼンしていく演習の授業。事前に読む文献は多いですがCity tour をしたり宮殿や歴史センターを訪れたり大変面白い内容でした。成績は出席とプレゼンの内容で評価。	英語	約 28 名	3 単位
2	Sacred Spaces and Private Devotion in Premodern Europe from Giotto to Bernini 授業内容/履修学期: イタリアのさまざまな教会の建築や絵画の特徴などについての講義。事前知識も乏しく専門用語が多かったのでとても苦労しました。成績はテスト100%。	英語	約 25 名	3 単位
3	Vortrag und Diskussion: Mittelstufe 授業内容/履修学期: 日本語学科の3年生とドイツの近代の歴史について日本語で学ぶ授業。アシスタント的に参加しましたが、ドイツ、特にミュンヘンの歴史をととても深く学べる良い授業でした。日本語の難しさも知りました。	その他	約 20 名	単位
4	Vortrag und Diskussion: Oberstufe 授業内容/履修学期: 日本語学科の4年生とドイツの近代の歴史を日本語で学ぶ授業。自分も参加したグループプレゼンに加え、最後は1日かけて1人一つプレゼンをしていました。日本人学生はレポートによる評価でした。	その他	約 15 名	3 単位
5	English B1: English for Academic Purposes 授業内容/履修学期: 英語でのプレゼン方法やEssayの書き方、議論の仕方など、今後大学生活で役立つ内容を学びました。	英語	約 6 名	3 単位
6	IUCM- Deutshkurs A1.1 授業内容/履修学期: 学期前のドイツ語の集中講義。	ドイツ語	約 15 名	6 単位
7	IUCM- Deutshkurs A1.2 授業内容/履修学期: 学期中のドイツ語の授業。	ドイツ語	約 15 名	6 単位

(5)履修して良かった科目 ※記入欄が不足する場合は追加してください。

科目名	History of Munich and Bavaria: An introduction for international students
理由	近代だけでなく神聖ローマ帝国時代からの内容をテーマごとに区切ってプレゼンしていたことでドイツの成り立ちを詳しく面白く学ぶことができました。また各プレゼンの直前に教授がテーマの基礎内容を説明してくれたので大変わかりやすかったです。ドイツの歴史を学びたいという当初の目的に合っていたし、外に出てCity tourや宮殿などに行けたのも面白かったです。自分のプレゼンの準備はかなり大変でしたが、多くのプレゼンを見ることができてとても勉強にもなりました。
詳細 (課題、試験等)	次週のテーマの参考資料のリーディング、20~30分のプレゼン(2, 3人ずつ)
科目名	Vortrag und Diskussion
理由	主に戦争中の歴史について、自分の住むミュンヘンで起こっていたこと、日本とのつながり、平和教育の違いなど、初めて知る内容を多く学べました。ドイツの学生は高校までで嫌というほどドイツの歴史を学ぶらしく、そんな学生が興味を持ったトピックだけあって発表はどれも興味深かったです。自分もグループプレゼンに参加できたのも貴重な体験でした。日本語の授業を取るべきか最初は悩みましたが、中級も上級も内容的に学びが多く履修して良かったと思います。
詳細 (課題、試験等)	10分のグループプレゼン、最終レポート(Oberstufe (上級クラス) のみ)

III. 課外活動

- (1)課外活動への参加 有 無
 (2)イベントへの参加 有 無

有る場合はクラブ名、イベント名と活動内容を記入

MESAという学生団体が留学生向けに旅行や様々なイベントを企画していたので何度か参加していました。

IV. 施設・設備

- (1)学食・カフェテリア 有 無 2, 3 箇所
 (2)スポーツ関連施設 有 無 具体的に
 (3)ライティング・センター等履修サポートサービス 有 無

Olympiaparkにもともとオリンピックで使われていた施設がたくさんあり、ZHSという団体に1 Semester 7ユーロ払うと様々なスポーツに参加できます。

- (4)その他お勧めの施設・設備

Olympischesdorfと Studententstadtという二つの大きな学生寮には夜11時まで使える閲覧室があり、テスト期間などは混んでいますがWifiも備わっていたので利用していました。誰かと一緒に勉強するときは日本語学科の入っている OettingenstrasseのMensaがおすすめです。

- (5)現地学生との交流機会 満足 やや満足 やや不満 不満
 そう感じた理由を教えてください。

日本語学科の学生とのWelcome Partyに参加できたのでそこから日本語学科の学生との交流はできましたが、その他の現地学生との交流はほぼ全くできませんでした。

V. お金の管理

- (1)お金の管理方法 現地銀行口座 インターナショナルカード(国際キャッシュカード) クレジットカード
 海外専用プリペイドカード(キャッシュパスポート等) デビットカード 現金
 その他 (_____)

不便だったこと・お勧め方法等アドバイス

現地で開設する銀行は、N26というオンラインバンクが簡単でおすすめ。テレビ電話での面接は英語ででき、維持費もかからないので便利でした。友達へのちょっとした送金も簡単にできて楽でした。

5.費用について

I.留学にかかる費用

	内容詳細	期間(ヶ月)	月額	総額(円)	支払方法
渡航準備	往復航空券・燃油サーチャージ・空港使用料	-	-	¥ 126,000	カード
	学研災付帯海外留学保険	-	-	¥ 50,000	オンライン
	現地保険(留学先国・大学指定)	-	-	¥ 61,000	オンライン
	パスポート・ビザ申請料	-	-	¥ 6,700	現金
	語学研修代(総額)	5ヶ月	-	¥ 68,093	オンライン
	予防接種代	-	-		
	その他(スーツケース、スマホ)	-	-	¥ 120,000	カード
現地費用	宿舍費(月額)	6ヶ月	¥38,000	¥ 228,000	オンライン
	光熱水費(月額)			¥ -	
	食費(平均月額)	6ヶ月	¥25,000	¥ 150,000	カード
	携帯料金(月額)	6ヶ月	¥1,200	¥ 7,200	カード
	インターネット料金(携帯以外)(月額)	6ヶ月	¥500	¥ 3,000	現金
	交通費(平均月額)	6ヶ月	¥5,500	¥ 33,000	カード
	テキスト代、研究費用、学用品(総額)	-	-	¥ 6,000	カード
	日用品(平均月額)	6ヶ月	¥7,000	¥ 42,000	カード
	娯楽費(平均月額)	6ヶ月	¥10,000	¥ 60,000	カード
	旅行(総額)	-	-	¥ 180,000	カード
	Registration/Administration Feeなど 留学先支払手数料(総額)	-	-	¥ 15,000	オンライン
	その他()				
	その他()				
	合計				¥ 1,155,993

II.奨学金について

奨学金名	期間(ヶ月)		月額(もしくは総額)	申請方法
JASSO奨学金	6ヶ月間	<input checked="" type="checkbox"/> 月額 <input type="checkbox"/> 総額	80000円	国際室
		<input type="checkbox"/> 月額 <input type="checkbox"/> 総額		
		<input type="checkbox"/> 月額 <input type="checkbox"/> 総額		

6. 留学全般について

I. 留学先

(1)なぜ留学しようと思いましたか？そして、いつ頃留学することを決めましたか？

もともと入学前から英語が好きでいつか留学してみたいと思っていたので留学しやすい埼玉大学を選びました。しかし具体的に特にやりたいこともなくお金もかかるので希望届の提出締め切りギリギリまで悩んでいましたが、出してみたら諦めようという気持ちで提出しました。

(2)留学先大学を決めるにあたり、参考にしたものを教えてください(例:各協定校のHP、先輩の話、交換留学報告書等)

各協定校のHP、先輩の話、チューターで担当していた子の話、交換留学報告書

(3)留学申請に必要な語学スコアの向上方法を教えてください。

夏休みのIELTS集中講座、英語の代替クラス(AEWなど)

(4)なぜ最終的にこの国、この大学に決めましたか？

まずヨーロッパ文化専攻なのでヨーロッパに絞り、一年生の第二外国語でドイツ語を取っていたこと、移民も多く異文化を多く受け入れてきた国であることからドイツに行きたいと思いました。自分のIELTSスコアとも重ね合わせ、歴史も古く文系の学部も多いこと、英語で授業を受けられること、ドイツ語も学べること、治安、レベルの高さ、またチューターで担当していたミュンヘン大学の子から話を聞く中でここしかないと思いました。

(5)留学先としてこの大学をお勧めするポイントをあげてください

世界でもトップレベルの大学だけあって、日本から来る留学生も含め周りはモチベーションの高い学生が多いです。図書館など学習環境も整っているし、留学生へのサポートもしっかりしていました。日本語学科があるのでそこから現地学生と交流できるのもおすすめです。少し物価は高いですが留学生寮は安く、スーパーもレストランもショッピングセンターもあり、交通機関も備わっているので生活にはほぼ全く困らないと思います。治安もかなり良いです。オクトーバーフェストやクリスマスマーケットなど一年中イベントがたくさんあるのでとても楽しめると思います。

II. まとめ

留学を通して学んだこと、大変だったこと、留学希望者へのアドバイスなど自由に記述。

上記のアンケートで書ききれなかったことなど、たくさん記載してください。

自分の留学の目的は、大きく分けて①語学力の向上②異文化を肌で学ぶこと③積極性の向上の三つでした。①に関して、ドイツ語の事前講習のクラスメイトや、ドイツ人のタンデムパートナーやその友達とよく一緒に勉強したり遊びに行っていたので、そのおかげもあって英語やドイツ語が前よりも少しは身についたと思います。しかし正直周りには日本人がたくさんいて、結構意識しないと授業以外で英語を話す機会は作れなかったのと、もしドイツ語の事前講習を受けていなかったら留学生の友達を作るのもなかなか厳しかったと思うので、そこは少し苦労しました。ミュンヘン大学に行く方はドイツ語事前講習を受けることを強くおすすめします。

②に関して、友達と話したり生活したりしていく中で日本と異なる文化をたくさん学ぶことができました。とくにドイツ、ミュンヘンは純ドイツ人は少数で、それぞれいろんな国との異なる文化的背景を持っていますが、それを当たり前で受け入れている環境は日本には無い感覚でとても良いと思ったり、そこに身を置くことができたのは貴重な体験だったと思います。

③に関して、想像通り授業内で意見がポンポン出るし、思ったことをすぐに的確な言葉で表現できる学生が本当に多く、それについて行くためにも積極性は必要不可欠であり、自分の未熟さにも気づかされました。また積極的に発言、行動するには少しでも基礎知識を身につけておかなければならないとわかったので、日々の学びの大切さを実感しました。みんなやる時はやる人ばかりだったので周りの環境には大きく支えられ、また確実に今後のためになったと思います。

留学を決める前は将来の目標も特別にやりたいことも無い自分が行くべきか本当に悩みましたが、今は本当に行き良かったと思っています。半年は短く将来やりたいことを明確に見つけてくることは難しかったですが、新しい影響を受けて考えが広まりましたし、いろんな困難を乗り越えたことで何でもやってみればなんとかなるとわかっただけでも、自分の自信に繋がりは行った意味になったと思います。何ごとまずチャレンジしてみなければ分からないし、ある程度物事を楽観的に考えることも大切だと気づかされました。新型コロナウイルスの影響で差別されることもありましたがそれも経験だったなと思います。

勉強面だけでなく、ミュンヘンは年中イベントが目白押しですし、半年では巡りきれないくらい魅力的な街です。オクトーバーフェストの時期には街全体がお祭りムードになりワクワクしますし、クリスマスの時期はあちらこちらでクリスマスマーケットが開かれています。先にも述べましたが交通の便も良く買い物や日本食にもほぼ困らないのでとても生活しやすいです。大学も含め歴史的な建物の並ぶ街並みも私は大好きでした。挙げ始めたらきりがありませんが、ヨーロッパへ留学をお考えの方にはミュンヘン大学をぜひおすすめしたいです。

下の写真1枚目は大学のメインビルディング、2枚目は寮、3枚目はオクトーバーフェスト、4枚目はクリスマスマーケットです。

